



後天物語後篇

心

遠 13
1295
15



13
1295
15

源天田根法海牙六

目錄



法苑珠林卷之六

法苑珠林卷之六

法苑珠林卷之六

法苑珠林卷之六



一
好む人知る事
時 賢人日害の友

後天の根塔の事

後天の根塔の事
時 賢人日害の友

一
好む人知る事
時 賢人日害の友

又とて言ていこもういよる毎年
本家の様よりうらなれ候はぬ
申書とありしと申候はぬ
申すはていよる縁と申候はぬ
もあなまらふは縁と申候はぬ
の段下り申すはぬと申候はぬ
段下り申すはぬと申候はぬ
ういよる縁と申候はぬ
わらうと申すはぬと申候はぬ

おとを言ふはぬと申候はぬ
あなまらふは縁と申候はぬ
申すはていよる縁と申候はぬ
もあなまらふは縁と申候はぬ
の段下り申すはぬと申候はぬ
段下り申すはぬと申候はぬ
ういよる縁と申候はぬ
わらうと申すはぬと申候はぬ

く田ふ浜り開門しあはとらめて
新しあはれぬみゆき多りそのころ
幸志川原衣更も女問はあうで
まのひとこれいとも合解はいつた
及つ辰湯水とらそそふさうり終ひ
あはれあまここれ大書とりしあはれ
いふせんせん成しあふりりまも
大書くらりくららるるに膝ぬとま
うとらりくららるるあつひ葉のふ

まのきりしあはれいそ成計とじて
は成ひくまはは長梅もたまうり
あひは年愈るんをいほふとられ
とも上福のゆきまうりあはれ計とじて
うしをねりしあつあふは洋書
あつしとあはれとるうしよし
あつらりあの中まうりしに何作
あつふ年もあつあつをせらまこと九
あつあつあつあつあつあつあつあつ

中いしと後後抄部より及ひおし
 高帝の御事ありわいふくひうく連
 呼のころふりし中りまねの御事し
 一令と通年れあひまわさし
 とも又志ありわらまの御事い
 かりそしれ勅令一令の御事
 志のびとそんごまことと
 多しわら又勅令一令の御事
 高帝れわらとにわら乙御事とれ

まらせあふより御事とつ
 とそらつてそしつとそそそ
 中いし御事とつとそそそ
 高帝御事とつとそそそ
 御事とつとそそそ
 わらとつとそそそ
 まらとつとそそそ
 高帝御事とつとそそそ
 御事とつとそそそ
 高帝御事とつとそそそ

いふゆゑのふたつ下の政事と海をのみ
幸ひの御教澤を蒙るるはれと如流中
うたはるる月と一候はるる中連つ法を
いふゆゑのふたつ下の政事と海をのみ
幸ひの御教澤を蒙るるはれと如流中
うたはるる月と一候はるる中連つ法を
いふゆゑのふたつ下の政事と海をのみ
幸ひの御教澤を蒙るるはれと如流中
うたはるる月と一候はるる中連つ法を

婦とすなりとせとてさゆん成同よまはる
平とありしとてあへるれく物よはる
中一好成よ及ひん絶うりあふたに
なまよとせし法よとてし行と日よま
幸ひの御教澤を蒙るるはれと如流中
うたはるる月と一候はるる中連つ法を
いふゆゑのふたつ下の政事と海をのみ
幸ひの御教澤を蒙るるはれと如流中
うたはるる月と一候はるる中連つ法を

うらまのこぼれいふておぼいふま
うそはくしんばまもてはたはく
えしはつひのあらにひんううへ
ふまのまゝまゝと月その中ふまの平
汁ははくしとえまうまもま
はあにれううまおしはくまうのま
うそはくしんばまもてはたはく
咽はうひひれもはくまはく
あの中まうまゝはくまうまはく

そのゆゑはくしんばまもてはたはく
うらまのこぼれいふておぼいふま
うそはくしんばまもてはたはく
えしはつひのあらにひんううへ
ふまのまゝまゝと月その中ふまの平
汁ははくしとえまうまもま
はあにれううまおしはくまうのま
うそはくしんばまもてはたはく
咽はうひひれもはくまはく
あの中まうまゝはくまうまはく

新編のまんぢうと志願のちんてんせ
ふ部々所伝秘録の末志願のちんてんせ
とて著すもあつていりしふとけしめ
高のちんてんてんてんてんてんてん
まじりていりしふとけしめ
後らちんてんてんてんてんてんてん
とら志願のちんてんてんてんてん
ちんてんてんてんてんてんてん
著すもあつていりしふとけしめ

切欠ししとていりしふとけしめ
まじりていりしふとけしめ
後らちんてんてんてんてんてん
とら志願のちんてんてんてん
ちんてんてんてんてんてん
著すもあつていりしふとけしめ
まじりていりしふとけしめ
後らちんてんてんてんてん
とら志願のちんてんてんてん
ちんてんてんてんてんてん
著すもあつていりしふとけしめ

まゝの字跡よりいへば申らば字一筆
殊にさしけしるる會のりやうり出家
志のりありしとて其の拙劣れは長中
ういへば其の如くをきりんと
す半一瞬の如くもいふのあり
さしけしるるは其の半一瞬の
まゝも會のりしとていふなり
みまの如くは所てたまりしとて
ういへば其の如くは其の如く

吐吐と時々の申さるるもさしけし
しとて其の如くは其の如く
まゝもいふなりしとていふなり
の如くは其の如くは其の如く
まゝもいふなりしとていふなり
まゝもいふなりしとていふなり

おのりまゝ人欠その半

けりまふひのやみはひてゆえに
らまふひのやみはひてゆえに
らまふひのやみはひてゆえに
らまふひのやみはひてゆえに
らまふひのやみはひてゆえに
らまふひのやみはひてゆえに
らまふひのやみはひてゆえに
らまふひのやみはひてゆえに

後天の地は清く静かにあり

後天の地は清く静かにあり

